

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【193】

2. 日時：令和4年6月7日 10時00分～11時20分

3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

義崎管理官補佐、伊藤原子力規制専門員

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他18名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力部 設備設計グループ 主任※

電源開発株式会社

原子力技術部 設備技術室 課長※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配付資料

・なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	原子力規制庁の吉崎です。それでは本日の中国電力の
0:00:08	島現職発電所設工認のヒアリングの方を開始したいと思います。説明の方をお願いします。
0:00:18	中国電力の内藤です。
0:00:21	本日は、有効吸込水頭、
0:00:25	意識PCV原子炉格納施設の設計条件、
0:00:29	水素濃度低減性能の3件のコメント回答を予定しております。
0:00:35	1件進め方ですが1件ずつ、コメント回答のご説明、そのあと質疑、
0:00:41	コメントの確認まで実施させていただいて、その次の、
0:00:45	県に移っていくと。
0:00:47	ということで考えておりますがそれでよろしいでしょうか。
0:00:51	はい。規制庁のヨシザキ説明は有効吸込水頭と格納施設の設計条件と、水素の低減の一つずつで、
0:01:01	束ねて質疑あると、そういうことでよかったですか。
0:01:07	中国電力の内藤です。
0:01:09	はい。有効吸込水頭をまずやって、そのあとに、設計条件、
0:01:14	そのあとに、
0:01:16	水素濃度低減するので、1件ずつ区切ってやりたいと考えております。以上です。
0:01:22	はい。1件ずつ区切ってやるということで、はい。よろしく申し上げます。それでは、説明申し上げます。
0:01:31	中国電力の田原です。それでは有効性込み水等のコメント回答に入りたいと思います。まず資料確認からよろしく申し上げます。
0:01:43	資料七つ準備しております、まず一つ目、①としましてウエスギほか、
0:01:51	104回01、これが回答整理表になります。資料二つ目、こちらがN-S 2.1050回01。
0:02:01	現0施設側の説明書になります。
0:02:06	三つ目としましてエース2.1050回ゼロイチカッコ費、こちらが説明書の比較表になります。
0:02:16	四つ目としてN-S2報、0809、こちらが原理施設の補足説明資料になります。
0:02:25	五つ目としてN-S2.1071回01、こちらが原子炉格納施設側の説明書になります。
0:02:35	六つ目としてN-S2.1071回01、括弧日。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:41	こちらが
0:02:44	比較表になります。七つ目としてN2 歩 011 回、13、こちらが格納施設の補足説明資料になります。
0:02:54	回答整理表等、補足説明資料二つは、5 月 30 日に提出、それ以外については前回 4 月 15 日に提出したのになります。
0:03:04	あと資料の方はおそろいでしょうか。
0:03:08	はい。規制庁のヨシザキで資料ありますので、はい。お願いします。
0:03:14	はい。中国電力の田原です。それではコメント回答に移りたいと思います。
0:03:19	まず回答整理方をご覧ください。2 ページ目。
0:03:24	の方に、コメントを記載しておりますして前回コメントいただいたのは、3 件になります。
0:03:31	本日は 11 から 13 番についてご回答いたします。
0:03:35	まず、コメントNo.11 ですけれども、コメントとしましては、大量送水車の有効NPSHについて格納容器代替スプレイ時を代表として、6-1-8-4 側で評価するにあたり、
0:03:48	他の機能ルートとの関係を踏まえて記載を検討することということで、こちらは現 0。
0:03:54	施設の補足説明資料の方でご説明いたします。同じ資料でご説明しますのでNo.12 についても、まずコメントの確認からお願いします。
0:04:05	No.12 は、トスイッチポンプの吸込口フィルター閉塞時の対応として、
0:04:10	曜日の設置ポンプへの取りかえや閉塞判断等の運用に関する記載を拡充することということで、そのまず 11 番と 12 番についてご回答いたします。
0:04:21	4 番目の資料、
0:04:23	原子炉冷却系統施設の補足説明資料、
0:04:27	こちらのですね、
0:04:30	6 ページ 25 ページ目をお願いいたします。
0:04:41	まずコメントNo.11 の大量送水車の有効NPSHの代表性について、
0:04:50	記載拡充しましたのでまず回答いたします。
0:04:53	水源が
0:04:56	表題 1 をご確認ください評価対象の整理、一番右の欄。
0:05:01	になりますが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:02	制限が同じ場合ですね、吸込配管、ホースのルートも同じになりますので、圧損等に寄与する流量が最も大きくなるときが、代表となりますこれが基本的な考え方になります。
0:05:15	まず、和田に貯水槽を制限とする場合ですけれども、
0:05:19	低圧原子炉代替注水と格納容器代替スプレイの同時注水時、これが最大流量となります。
0:05:27	このとき、格納容器代替スプレイ流量が低圧原子炉代替注水流量よりも大きいと。
0:05:35	120と30という関係ですので、同時注水時の吸込配管の圧損寄与する機能としましては、格納容器代替スプレイとなります。
0:05:47	また、海を制限する場合ですけれども、こちらは低圧原子炉代替注水時以外の機能に期待するときは最大流量となりますので、
0:05:57	代表として格納容器代替スプレイとしております。
0:06:00	以上から、圧力低減設備その他の
0:06:04	安全設備、隔壁代替スプレイ等の機能になりますが、この
0:06:09	設備として機能を期待するときは代表となりますので、6-1-8-4側で評価しております。
0:06:15	以上がNo.11の回答となります。
0:06:18	続いてNo.12の回答となります。
0:06:21	こちらが、スイッチポンプの吸込口フィルター閉塞時の、
0:06:26	対応に関する記載拡充になりますけれども、
0:06:29	この第1表の下の注記、
0:06:33	二つ目になります。
0:06:35	まず海を制限として利用する場合は、大量送水車の附属品の水中ポンプの吸込口のフィルターが閉塞した場合に、ポンプの起動停止。
0:06:45	によるフィルター閉塞の回復、
0:06:48	あとポンプのつり上げによるフィルターの清掃が可能と。
0:06:51	しております。フィルター清掃につきましては、
0:06:55	積み上げ作業等含み約25分要しますけれども、
0:06:59	注水や補給作業といったことが中断することがないようにですね、閉塞したフィルターの清掃時間を短縮するために、例えばつり上げ後に大量送水車に配備している予備の水中ポンプに取りかえる。
0:07:13	また、吊り上げ時間を短縮するために、事前ラインアップした他の通り、大量送水車へ切り替えると、こういったことによって、フィルター閉塞時の影響を軽減することが可能と。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:25	そういうふうを考えております。また兵フィルターの閉塞につきましては、大量送水車つきの流量計等により判断していきたいというふうを考えております。
0:07:36	コメントNo.12 の回答は以上となります。
0:07:40	続いてナンバー13 の回答に移りますとコメント内容としましては、標準記載されているパラメータですね絶対圧力や大庭生蒸気圧の、
0:07:51	方について記載を追加することということで、
0:07:54	いただいております。資料については夏目の資料、原子炉格納施設の補足説明資料、
0:08:02	通しページは、
0:08:05	64 ページをお願いします。
0:08:15	あれ、残留熱代替除去ポンプの有効NPSHの算出結果としまして、
0:08:24	表別 3-2 と表別 3-3 の方に、時刻歴解析に基づく結果を載せていましたが、吸い込み切りに左右するデータ圧力と、
0:08:35	ポンプ吸込口における飽和蒸気圧イトウ、こちらについては時刻歴解析に基づき、
0:08:44	算出しておりますので、
0:08:47	振込の日、設置が最小となる時の値を追記しております。
0:08:53	それについては、
0:08:55	注記の 1 で、衛藤サイショ砂田で示すということも付記しております。
0:09:00	コメント回答は以上になりまして、1 件
0:09:05	適正化がありますので、吉田の方で、
0:09:09	ご説明いたします。
0:09:11	1、一つ目の資料の回答整理表のうち、最後のページ、
0:09:16	お願いします。
0:09:20	No.15 ということで、
0:09:23	注記の※を振ってございましたけれども、注記という文字がなかったので追記いたしました。以上になります。回答。
0:09:32	ご説明以上になります。
0:09:39	はい。説明ありがとうございました。規制庁のヨシザキで説明ありがとうございました。最小のコメントのところの確認なんですけども、
0:09:48	都丸 4 の資料の、
0:09:51	25 ページで、
0:09:53	拡充してもらったところで、水が同じ場合と、輪谷貯水槽の場合と、
0:10:01	海を水源とする場合で分けてもらって、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:06	1 バーン
0:10:08	一番その流量が大きいのが、
0:10:11	格納容器代替スプレイで、
0:10:14	これが、
0:10:15	先ほど流量は分配が、
0:10:18	100、120 と 30 出てましたっけ。
0:10:23	中国電力の田原です。オカダに推奨を制限する場合としてましては左の表、表の中の左側、ご確認いただくと。
0:10:32	同時抽選時が 150 で一番大きいということですのでそこに注記 1 を、
0:10:38	コミュニティを振っておりましてそこに記載の通り、あとよくよくAの方は 30、
0:10:43	各抜き方へのスプレイ流量 120 というところがございます。以上です。
0:10:51	あ、はい、規制庁の伊勢ですここの材料送水車の下から三つ目の、
0:10:57	ところのATS代替注水格納容器最低スプレー土中水の、
0:11:02	150 立米が、
0:11:04	最大流量だということですね。
0:11:07	わかりました。あともう 1 個、海を水源とする場合は、低圧代替スプレイ以外の機能に対する、
0:11:20	ここは何が言いたいんでしたっけ、ちょっともう一度お願いします。
0:11:25	中国電力の田原です。表中の、
0:11:30	海を制限とするケースとしましては、幾つかありますけれども、低圧燃料代替注水時の流量は 70 と。
0:11:39	それ以外、海を水源とする場合は、いずれも 120 というところなので、ここで記載している通り、低圧原子炉代替注水時ぐらいの機能を期待するときが 120。
0:11:52	統一共通ということになります。なので代表としましては、
0:11:58	どれでもいいと言えぱいいんですけれども、代表として確認いただいたスプレイを選定しましたというところを記載しております。以上です。
0:12:15	規制庁の吉田です。海水取水の場合は、
0:12:19	最大が 120。
0:12:24	先ほど代替スプレイが 150 だから 150 の方が大きいということ。
0:12:28	ということですかね。
0:12:33	中国電力の田原です。はい。和田に制限とする場合は、同時注水の時の 150 が一番大きいんで、
0:12:43	海を水源とする場合は、120。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:47	んなりますんで代表として各代替スプレイというふうにしております。以上です。
0:13:02	規制庁の井関和田新居を使う場合は 150 で、海の場合は 120。
0:13:08	ていうのはわかったんですけどもう、
0:13:13	これってあれですかね何かフォースの圧損とかってのは考慮されてなかったでしたっけ。
0:13:22	中国電力の田原です。
0:13:25	一番右の欄は、まず、
0:13:28	最初の水準同じ場合って書いてあるのはその破損も考えて、
0:13:32	当然やっていますんで、
0:13:35	基本的にルートは同じになりますので
0:13:40	基本的考えとしては、まず流量が大きいときは損大きくなるというところで、流量で選定するということになります。
0:13:49	なので
0:13:51	マダニ貯水槽については、流量が大きい同時注水時、
0:13:56	で、
0:13:57	運用制限する場合は、低圧原子炉代替注水以外であればどれも 120 なので、ここでは代表として、格納容器代替スプレイとしております。
0:14:08	以上です。
0:14:15	規制庁の施設フォースのルートが同じであるから、
0:14:22	条件は一緒ってことはわかるんですけどこれ水源がだから、和田にと海と、
0:14:30	違うんですけどその時のフォースの圧損はルートは同じになるんでしたっけ。
0:14:37	中国電力の田原です。
0:14:41	次の違いは当然、
0:14:43	ルートが変わりますのでそのまま変わりますんで、それを
0:14:50	右の欄でいくと、
0:14:52	まとめのパラグラフに、制限を分けて記載しております。だから 2 種類存在することになりまして、
0:15:00	ていうのが言いたいことで、ただ、いずれにしても、
0:15:04	圧力低減設備その他安全設備として機能を期待するときはいずれも代表になりますということになるので、
0:15:13	6-1-8-4、こちらで評価しているということを説明するために制限を分けて記載した上で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:22	機能としては、各施設側の方は、
0:15:25	ほぼ代表ですよということをちょっと言いたいがためにこのように分けて記載しております。以上です。
0:15:32	はい。説明はわかりましたで結局 6-1-8-4 で評価するってのも、それもわかった
0:15:39	出ますので、
0:15:40	もう少し配管の圧損、ルートは変わるけども、それでも、
0:15:47	流量が、勝から勝と大きいから、そっちの方が性能としては、そっちが最大になるということ、
0:15:56	もう少し強い、補足していただけないでしょうか。
0:16:05	中国電力の田原です。今、
0:16:08	江崎さんがおっしゃったことは、一応第 1 パラに書いていると思っ て、ちょっと制限が同じ場合は、
0:16:15	吸い込み配管のルートが、
0:16:17	同じになりますと、
0:16:19	その場合、本当に寄与する流量が最も大きくなるときが代表となります というのがまず基本的考えです。で、制限としては和田仁藤海ということ がありますんでそれぞれで、
0:16:31	どういう機能を、の 때가代表かを、第 2 パラで書いています。そこでは、 いずれも、
0:16:39	圧力低減設備その他の安全設備としての機能を期待するときに、いず れも代表分となりますよということを書いて、第 3 パラグラフ目に、その まとめとして、
0:16:51	口、そういったことの代表になるので 6-1-8-4 にて評価しているとい うことは一応記載しているつもりですけど。
0:16:59	それではちょっと不足しているということでしょうか。
0:17:04	規制庁の伊勢です水源が同じ場合って書いてあるから、
0:17:09	同じ場合はそうなんですけど、
0:17:11	今の説明と和田 2 と三戸水源が小となって、
0:17:17	いるので、
0:17:18	それについての説明を、
0:17:23	それを踏まえても、
0:17:27	代替スプレイの方がマックスだということ、
0:17:32	もう少しわかるようにして欲しいというのが、こちらの意図なんですけど も。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:38	CDが同じ場合ってのは、
0:17:41	同じだそうなんですけど、ルートは一緒だから、和田新野を使う場合と海を使う場合で、
0:17:46	違うからするとか同じじゃないんじゃないですかね。
0:17:51	そこはどうなんですかね。
0:17:54	中国電力の田原です。和田新居と海で、ルートは当然異なりますので、それぞれの水源について、第2パラグラフの方で説明している。
0:18:06	理解ですねと、和田に女性層の場合は、同時注水で、
0:18:12	そのときの機能としては各抜け代替スプレイが、
0:18:15	清木をしてますので代表で海を水源とする場合は、
0:18:21	低圧原子炉代替注水時以外の機能として、
0:18:25	格納容器代替スプレイを代表と、それぞれに代表を書いております。で、
0:18:31	まとめとして、格納容器代替機をするのが、駆け抜け代替スプレイを代表としておりますので、それについては続低減設備その他の安全設備の機能になりますので、
0:18:42	代表として、
0:18:44	6-1-8-4で評価するということになります。
0:18:50	まず第1パラは、制限を同じ場合と書いているので確かに誤解を与えるかもしれませんが、
0:18:56	まず制限が同じであれば、流量が大きいところを当たりますよと、第2パラグラフでは、それぞれの制限について、
0:19:08	菅。
0:19:09	整理した結果を書いていると思っていますここでもし、
0:19:14	片方が現0施設側としての機能であれば、それぞれに書くということになるので、もしくは、
0:19:22	実際の評価結果によって判断するっていうのもあるとは思いますが、
0:19:29	一応それぞれ、功刀代替スプレイ側が、代表っていうのは、
0:19:34	明確になっていると思ってまして、その結果は6-1-8年で評価するという考えになっていると、理解しています。以上です。
0:19:53	規制庁の吉崎ちょっと繰り返しになっちゃうんですけど、ここだとその流量でしか比較をしなくて、ルートが違うことによって、
0:20:02	圧損が変わることは、その第2パラでは触れてないので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:06	層厚についての補足を追記していただきたいというのが、こちらの趣旨なんですけども。
0:20:15	ここの第2プラスで、
0:20:16	第2パラグラフDルートとか圧損の説明も含まれているということでしょうか。
0:20:26	中国電力の田原です。
0:20:30	水源ごとに評価をしないといけないというふうにまず理解しています。
0:20:36	で、
0:20:38	水源。
0:20:38	が、まず、オノであればルートも同じなので流量で評価ん代表性は整理しますというのがまず基本的考えですんで、
0:20:47	第2パラは、それぞれ、
0:20:51	水源が水源ごとに代表を整理しています。
0:20:56	その時の代表の機能としては、それぞれ寄与するのは、
0:21:01	核抜き代替スプレイですよというところを記載しています。
0:21:06	で、
0:21:07	結果として、いずれの
0:21:10	水源を使う場合も、格納容器代替スプレイ、
0:21:14	を使用する時が代表となりますので、その機能は、圧力低減設備、その他の安全設備というところになりますので、代表として6-1-8-4で評価していると。
0:21:27	いうことを記載しています。確かにその和田2と海で、ルートが違うだろうっていうのは、ご理解の通りだと思ってますけれども、
0:21:37	そもそも、
0:21:39	それぞれ、
0:21:40	評価しなければいけないってことで水源を分けてここでは記載していて、その、その違いっていうのはあまり関係なくて、
0:21:49	まずどこで、
0:21:52	この資料で、
0:21:55	この大量送水車の評価を記載しますかというところを、ここでは整理します。
0:22:02	いずれの水源の場合も、
0:22:04	6-1-8-4まで評価することが、代表ですよというところを、
0:22:09	説明するものと理解してますので、
0:22:12	現状の記載であったりしているとは理解してますが、いかがでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:52	規制庁の伊勢です説明はわかるんですけど、
0:22:58	海を使った場合の大量送水車の方が流量低いんですけど、
0:23:04	例えばそのめちゃくちゃホースが長くてですね、
0:23:08	なんていうの、要は距離が遠くて長い場合はそっちの方が厳しくなるような気がしたんですけども、そそういうことにはならないというかそういうのが、
0:23:20	わかるそういうことを考えても、
0:23:23	和田委員貯水槽の方が厳しくなるよと。
0:23:28	いうのがわかればいいんですけども、ちょっと伝わってますでしょうか。
0:23:35	中国電力の田原です。水源が、
0:23:39	どちらが保守的かとか、代表かっていうのは、ここでは、
0:23:43	説明はしていないというのがまず、
0:23:47	現状の資料。
0:23:49	になります。
0:23:50	それは、どちらが保守的かっていうのは
0:23:55	いうことよりも、どの資料で説明するかっていうのを、ここでは少し整理するところ。
0:24:04	んでしたので、
0:24:06	当社としましては、
0:24:08	マダニと海の水源地、
0:24:12	どの機能が代表になりますかというのをまずここでは記載したところですよ。で、まだ2と、海、
0:24:22	を制限する場合で当然、
0:24:25	配管のルートであったり、
0:24:29	変わりますので、その値は当然変わります。
0:24:34	で、その変わるんですけども、一番下のなお書きに記載してますように、
0:24:41	まず、水中ポンプは、
0:24:44	空気を吸い込まない水を確保してキャビテーションを防止する設計。
0:24:48	で、大量送水車は、水中ポンプで押し込んだ上で、
0:24:55	押し込んで押し込む必要なベースを押し込むことで運用するということですよ。結果として評価対象外にしてますという記載にしてますので、
0:25:05	海と小和田に、どちらが保守的かっていうこと。
0:25:10	もう、今現状は記載してないというのがまだ実態になります。以上です。
0:25:21	規制庁の井関ですそうすると、結局これ一二つ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:26	今の何だ。
0:25:28	代替スプレイ同時注水と、和田に海からの 120 立米、これ二つとも評価はし、
0:25:38	しているということですかね。まず、
0:25:43	中国電力の田村です。はい。
0:25:46	一番最後して、下に書いてますなお書きのようなことがちゃんとなってるかっていうことは、確認しております。以上です。
0:25:58	規制庁の井関それは計算が、
0:26:01	何ていうか、
0:26:03	ケース、今後になるのかわかんないけど計算書を設定値根拠しようかなんかで、
0:26:10	何だ、羊蹄という量に対して圧損の子、計算と、
0:26:17	何だ。
0:26:18	マツイ込のすい水とか、その辺の計算が出てく。
0:26:25	そういう理解でよろしいですか。
0:26:28	中国電力のタハラですね社長お待ちください。
0:26:41	中国電力の田原です。
0:26:45	設定根拠では、NHは評価項目というか記載項目ではございませんので、資料上は出てきません。以上です。それ、すいません
0:27:00	先行プラントも同じ認識です。以上です。
0:27:14	規制庁の井関です先行プラントを、
0:27:19	柏崎も同じでした。柏崎の時は一番厳しい水水源ごとで評価をしていて一番厳しいところで評価していたと思ったんですけども、
0:27:34	そうではなかったんですか。
0:27:37	中国電力の田原です多分水中ポンプを使う場合は、
0:27:43	評価を、
0:27:44	載せていない認識です。水中ポンプを使うことで、
0:27:49	水中ポンプの押し込みで、大量送水車のその 1NPSHが、
0:27:55	体制も満足するかどうかっていうところは、先ほどご説明しました表のなお書きのところの運用によって、
0:28:06	評価については対象外としているのは、これはもう各社共通だと思っていますんで、
0:28:11	大量送水車のような可搬型のポンプで評価しているケースとしましては、例えば水中ポンプを用いないような場合には、地下サノような評価があったと、記憶はしてますけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:24	このような水中ポンプをセットで使う場合については、評価はしていない認識です。以上です。
0:28:40	市長の伊勢です水中ポンプ使ってる場合は、落ち込むからそういうせ、評価対象返してるけども、
0:28:49	使わないで使えばいいよ。
0:28:51	シーマの場合は、可搬型のポンプである、ありました。
0:28:56	何かありましたでしょうか。
0:28:59	中国電力の田原です。島根の場合は、代表性車を使用するときは、水中ポンプセットでの使用になります。以上です。
0:29:21	規制庁の井関さん。とりあえず説明はわかりますちょっと柏崎の方核にしますね。
0:29:27	もう1回確認なんすけど可搬型の送水車で水中ポンププーを使ってる場合はこれは、
0:29:34	なんだ。
0:29:35	水中ポンプ吸い上げた後に大量送水車の、
0:29:40	附属品属じゃないですか、対応措置者の中にあるポンプで、
0:29:46	送水をしていると思ったんですけどそうでなかったっけ。
0:29:52	中国電力の田原です。例えば、
0:29:55	海に沈めて水中ポンプで吸い上げている。それ、
0:29:59	それで押し込んだものを、また大量送水車側のポンプというか、大量送水車で、その注水先に送るというような構成になります。以上です。
0:30:14	規制庁のヨシツグでそうすると一大量送水車側の本ぷーで、
0:30:20	送水するというのを、
0:30:23	何らかの形で評価してたと思ったんですけどそれ、それはそれもないってことですか。
0:30:44	中国電力の高良で少々お待ちください。
0:31:04	と中国電力の高田です。大量送水車の評価については、
0:31:11	ここやはりなお書きで記載している通りですね
0:31:18	シリンジポンプで押し込むというところ、水中ポンプについては、水を確保してキャビテーションを防止するというところ、実質的には運用になりますけれども、それ、
0:31:28	思ってたの説明としているのがまず実態です。
0:31:31	以上です。
0:31:36	市長のヨシザキですわかり

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:39	ちょっと先行が本当にそうしている方も確認をしますけど、それは一応、市、中国電力が確認しているということでよろしいんですね。
0:31:53	中国電力の田原です。はい。その認識でして、本日準備しております、比較表。
0:32:02	ですね、こちらの方でも、
0:32:06	大量送水車、設置ポンプを使うようなケースに関しては、特段の差異なしというふうに理解をしております。以上です。
0:32:19	あ、規制庁のヨシザキサノホーム本体側はそうかもしれないけど補足説明側も同じという解釈ですかね。その先行と同じような、
0:32:30	書きぶりというか、対応しているという理解でよろしいですか。
0:32:37	中国電力の俵です。はい。一応その認識でいます。以上です。
0:32:47	はい。規制庁の井関です。とりあえずわかりました。で、代表はCV側、圧力低減設備の方でやっているとも
0:32:58	これは理解してます。はい。
0:33:00	少々お待ちください。
0:33:19	規制庁の伊藤です。
0:33:21	さっきと同じページなんですけど、の中機能2で、黄色で追加していただいた閉塞したフィルタの清掃時間を短縮するために、つり上げ後に対応するトイレ送水車に配備してる曜日の水中ポンプに取りかえるということで、
0:33:35	清掃の時間を短縮するためにつり上げた後に変えます。
0:33:40	よってということなんですけど、
0:33:42	ちなみにこのつり上げ後、
0:33:45	2、
0:33:47	こうじゃない方法ってちなみにあるんですかね短縮するためにあえてこういった方法をとってますよみたいな感じ。
0:33:53	なんですけどそれ以外の方法と違ってあたりするんですかね、何か。
0:33:59	基本的に何かつり上げ後に全部変えるっていうのが基本のやり方なのかなあと思っちゃったんですけど。
0:34:06	ご説明をいただいてもよろしいですか。
0:34:10	中国電力の田原です。まず、基本的な作業としては、吊り上げて、
0:34:17	次は、つり上げた後に、フィルターを清掃して、またつり下げると。それが一連の流れというところなんです。例えば、清掃に
0:34:28	もしかしたら時間を要するかもしれない。
0:34:30	いうところもありますので、つり上げたときに、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:34	清掃するんじゃなくて単純に水中ポンプを取りかえるということ、
0:34:40	もう、
0:34:41	ペースで短縮することをまず、
0:34:46	清掃時間を短縮するために、に対して記載しているところです。あと、後半の方で、次の時間を短縮するためにとありますけれども、こちらの方は、そもそも、
0:34:58	一覧じゃなくて例えば事故状況に応じて、
0:35:02	大量送水車を、二つ目をちょっと配備して、
0:35:06	もう、
0:35:08	いつでも、
0:35:10	健全な本切り替えることができるようにしておくということ、さらなる対応として、
0:35:18	記載を追加したというのが、まず実態です。以上です。
0:35:23	ありがとうございます理解しました。
0:35:43	規制庁の吉崎です。もう一つのコメント回答で、
0:35:50	南波でこれ、
0:35:52	⑦の資料の、
0:35:55	64 ページで、
0:35:57	NPSHの採取所ちいの、
0:36:02	吸い込みの絶対圧と、ポンプ吸い込みの飽和蒸気、水頭のところを、
0:36:10	追記いただいたんですけども、
0:36:14	のマスクングになるんですけども、この位置で、有効NPSHが最終となる時値ってあるんですけど、
0:36:23	最小になるときの値。
0:36:32	サイショなるときの値。
0:36:35	を記載して、なぜ結果的にその一番下の値が最小値なんですけど、
0:36:40	この
0:36:42	H、スモールHですか、これが一番、
0:36:48	最小になる値を時刻歴で算出して、
0:36:53	記載した。
0:36:54	ちょっとこのもう少し詳しい説明お願いします。
0:37:00	中国電力の田原です。
0:37:02	同じ資料の
0:37:06	67 ページ。
0:37:08	をお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:10	図、上の図ですね図別 3-1 というところで、有効性評価の解析結果から算出した有効NPSHの
0:37:23	ことになりまして、
0:37:25	ここでのサイショ中オオキサイというところになりますんで、
0:37:32	HAは吸い込み米に作用するデータと呼ぶというところなので、S/C
0:37:42	の活力、
0:37:44	AHSは、飽和状況、吸い込み口における法上契約水等ということで、サプレッションプール水温、この
0:37:55	形になります。次実績にこの 2 種類のパラメータは、解析上変動しますので、
0:38:03	例えば、一番最後のページですね、68 ページ目のように、例えばS/P 生業であれば、
0:38:09	例えばここ、このように推移しますので、
0:38:12	突確
0:38:14	時刻で計算して、
0:38:16	一番ちっちゃくなるところを、
0:38:18	記載したと言うのが、
0:38:22	回答になります。以上です。
0:38:33	規制庁の施設今最後の 68 ページのサプレッションプールのすいいの。
0:38:40	国庫が増井恩田水温の一番、
0:38:45	MACCSを選んだってということで、
0:38:49	よかったですかね。
0:38:51	中国電力の高良です。有効NB設置は、今のよう、
0:38:56	圧力と、そういったでは水温それ以外には、吸い込み予定とか配管破損、ストレーナそういうパラメータが関係しますと、
0:39:09	うん。
0:39:10	時刻に応じて、変動するのは、空間圧 h_a とHSになりますと、それを各時刻で一応計算して、最も低くなる場所を当たっていますので、
0:39:24	必ずしも水温が一番高い時とか、
0:39:27	どう空間圧力は、
0:39:29	高いところ低い時みたいな、そういったところではなくて、もう計算して一番有効NPSH値が小さくなる場所、ここを記載しているというところなんです。以上です。
0:39:43	規制庁伊勢記載理解しました。結果的にその有効性NPSHサイショなる場所を計算上出して、温度と圧力を選定しているということで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:56	理解しました。で、
0:39:58	DC1 と、過圧過温で小さい方が、
0:40:08	これから判定値が、
0:40:10	前のページにありましたっけ。
0:40:13	中国電力の高田です。判定値、実際NPSHの評価をして、最終的な判定値は、例えば 66 ページに、
0:40:22	の、下の表に書いてます必要NPSHの値、これを上回ることが、安定期になります、
0:40:32	64 ページ目で言いたかったのは、DCHと大LOCAどちらを、
0:40:37	まず、
0:40:39	解析NB設置用の解析をするにあたって、
0:40:43	どちらを選べますかというところで、見込みLinePay設置が最小となる値を比べて、より小さい方を代表として、
0:40:54	DCHを選定しましたというのが、この資料でまず前段で言いたいところになります。で、そのDCHについて、
0:41:02	有効NPSH算出用に、さらに保守的に設定して、
0:41:08	評価して、
0:41:09	それでもなお、必要NPSHを満足しますよというのを 66 ページ目の方に載せています。以上です。
0:41:26	市長の井関です途中までわかってたんですけど最後
0:41:31	何だ 66 ページのDCHGの係数で代表してて、すみません 66 のDCHと 64 のDCってこれは何が違うんでしょうか。
0:41:45	中国電力の田原です。ちょっとここ 1 回目のヒアリングでちょっと説明したので大分時間がいて、大変申し訳ないですけど、
0:41:55	威圧を考慮するというので
0:41:59	単純に有効性評価の解析よりもさらに排圧が小さくなるように設定し、評価し、その結果、市長エネルギー成長が有効NPSHが上回ることを確認するというのは、まずこの資料で言いたいことになります。
0:42:15	で、64 ページ目は、有効性評価を、
0:42:19	で評価した場合、ベースか別評価というか、そういったところになりまして、表 3、別途 3-2 でいきますと一番下の有効NPSHのサイショ事故の値。
0:42:32	がまずありますと、次のページ 65 ページ目で
0:42:37	示しているのは、この有効NPSHを評価するために、排圧を小さくして保守的にしましょうというところを、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:48	考え方としてこのように整理しましたというのを、
0:42:51	表に書いていまして、
0:42:54	排圧を小さくするように例えば地域窒素注入をなしと。
0:42:59	したケースで解析して、その結果から算出した有効NPSHの値が表別 3-5、66 ページ目ですね、こちらの方で、
0:43:10	やっていますんで、ここで見ていただくと、先ほどの 64 ページ目の有効 NPSH値と、
0:43:17	よりも、
0:43:19	こちらの方が厳しいので、より歩厳しい状態にしても、
0:43:24	有効NPSHを満足していますよと。
0:43:26	いうところをご説明した資料になります。
0:43:29	以上です。
0:43:33	市長のヨシダですはい。思い出しました。N、そうですね、DCH、ベンツ なしの方が当然、厳しいからそれを代表してて、有効性評価の方の、
0:43:47	そちらの方のパラメータを使って評価したのが、64 ページでリーチとか 使うんでやっていると。
0:43:56	はい。
0:43:57	そうでしたねはい。
0:43:59	理解しました。
0:44:00	はい。NPS市わあ、ちょっと待ってね。
0:44:06	はい。NPSHは以上です。次の質問しつつ、次の説明をお願いいたしま す。
0:44:23	中国電力島谷です。それでは水素濃度低減性能について説明させてい ただきます。
0:44:30	最初に、
0:44:31	終了確認の方から、
0:44:33	お願いいたします。
0:44:35	水素濃度低減、
0:44:38	水素濃度低減性能については、
0:44:42	原子炉格納施設、PCV設計条件と共通の資料もありますので、
0:44:48	資料確認については、1 度に、
0:44:51	行わせていただきます。
0:44:53	提出した資料は、
0:44:54	6 部ありまして、すべて 5 月 30 日提出になっております。
0:45:01	一つ目が、N-S2 オカ 054 回 07。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:06	回答整理表。
0:45:08	N-S2.1094 回 02。
0:45:12	PCV設計条件に関する説明書
0:45:15	N-S2.1094 オカ 02、括弧費。
0:45:19	その比較表。
0:45:21	N-S2.1098 回 0 に水素濃度低減制度に関する説明書
0:45:26	N-S2.1098I02 カッコ日比較表。
0:45:32	N-S2 歩 011 回 14。
0:45:35	この施設の補足説明資料、
0:45:39	資料はおそろいでしょうか。
0:45:44	はい、規制庁のヨシザキで資料あります。
0:45:50	お願いシマタニです。
0:45:52	ありがとうございます。
0:45:53	それでは、水素濃度低減性能の回答からになります。
0:45:57	回答整理表の 10 ページ。
0:46:00	ナンバー101 をご覧ください。
0:46:08	ナンバー101。
0:46:10	重力ダンパーの構造図について、実際の設置状況を考慮した向きに修正し、説明すること。
0:46:17	補足説明資料の通し 92 ページを、
0:46:21	ご確認ください。
0:46:28	(2)重力ダンパー括弧、鉛直について。
0:46:32	実際の設置状況に合わせ、桐生が鉛直方向に東り向けに図を変更いたしました。
0:46:41	続きまして、ナンバー102、
0:46:46	静的触媒式水素処理装置入口出口温度計の設置位置について、先行審査プラントとの相違を説明すること。
0:46:55	水素濃度低減性能の比較表、103 ページをご確認ください。
0:47:08	衛藤委員の説明として黄色ハッチング部分を追記いたしました。
0:47:12	変更記載の両壁面に配置した擁壁ミナミがないことの説明になります。読み上げます。
0:47:18	設計方針の相違、東海第 2 柏崎 7、
0:47:22	島根 2 号機では想定している水素漏えい箇所括弧、ドライウェル主フランジ及び、
0:47:28	水素の流路カッコ大物搬入高の近傍の、に温度計を設置している。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:35	なお、配置図については次ページの図 3-1 に記載しております。
0:47:41	続きまして、
0:47:43	No.103。
0:47:46	表 2-2 について、水素の発生量のうち、有効性評価結果の値が、先行審査プラントと比較して、
0:47:53	小さくなっている理由を説明すること。
0:47:56	比較表の 45 ページをご確認ください。
0:48:06	前回資料では、そういう理由について、設計条件側の説明しか、
0:48:10	できておりませんでした、
0:48:12	有効性評価結果の説明として、黄色ハッチング部分を追記いたしました。
0:48:17	読み上げます。
0:48:18	設備及び運用の相違と外来に活用できない。
0:48:22	設計条件側燃料装荷量の相違により、また、有効性評価結果側、上記のほか、
0:48:28	主に原子炉注水開始時間及び原子炉注水に使用するポンプの性能特性の相違により、
0:48:34	水素発生量が異なる。
0:48:39	続きまして、No.104。
0:48:42	図 2-20 で示している水素濃度の時間変化が、
0:48:46	格納容器ベントを期待していないことがわかるように記載を検討すること。
0:48:51	また、水素濃度が 1.5%に到達するまでの、
0:48:55	経過時間を説明すること。
0:48:58	その低減性能の単独資料の、
0:49:01	通し 46 ページをご確認ください。
0:49:09	実際の運用では、格納容器ベントを実施する一方、図 2-20 で結果を示している解析においては、
0:49:15	格納容器ベントが考慮されていないことについて、黄色ハッチング部分を追記いたしました。
0:49:22	また、図 2-20 について、
0:49:25	左上の吹き出し部分において、
0:49:27	水素濃度が 1.5%に到達する時間が、
0:49:30	約 12 時間後であることを括弧書きで追記いたしました。
0:49:35	以上で、水素濃度低減性能の説明を終わります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:49	あ、規制庁のヨシザキですこちらの方はいつか適正化はなかったってことですね。
0:49:57	中国電力島谷です。適正化については水素濃度低減専務にはございません。以上です。
0:50:05	はい。規制庁の義崎すわかりました。
0:50:09	と、
0:50:14	何番中とか、
0:50:19	比較表の6-8-2か。
0:50:23	先ほど水素発生量のところで、備考で追加してもらったところなんですけども、
0:50:30	比較表の45ページですかね。
0:50:32	これ有効性評価側蒸気その他原子炉注水開始時間及び給水に集水ポンプの特性の相違があって、
0:50:43	結局これはですか。
0:50:46	原子炉注水開始時間が早まるのと、
0:50:51	ポンプの性能が、
0:50:54	これはすす給水流量が多いから、ずっとそういう説明でしょうか。
0:51:09	中国電力島谷です。ご理解の通りです。以上です。
0:51:18	規制庁の井関済まそうであればちょっとそうその旨を少し、
0:51:23	括弧だけ括弧書きでもいいんですけど、記載をいただきたいんですけども、よろしいでしょうか。
0:51:32	中国電力の吉川ですここを、
0:51:36	有効性評価の解析結果から分析したんですけども、
0:51:40	あくまでちょっと推測の域を超えなくて、先行の解析結果と比較して、ここが今、
0:51:49	申し上げたことが違うだろうなっていうところで書いててなかなかはっきりと断定的に書けないっていうところなんですけど。
0:51:57	以上です。
0:52:07	規制庁のユリセキサノをそうですかスペック確認をしたり、注水開始時間を比較すればわかると思うんですけども、ちょっと
0:52:19	今の言ってることがよくわかったんですけど、
0:52:25	中国電力のヨシカワです結果として下、今回解析結果として先行と、
0:52:31	ことなど、まず推算性を異なっていると、その原因を分析したところ先行と違う部分としては、
0:52:38	注水量注水量と、あと注水開始時間、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:43	ていうところが違うってところがあるんですけども、
0:52:47	それが、
0:52:50	解析結果に結果的にどのように影響してるかってなかなかちょっと分析が難しくて、
0:52:56	自社のプラント例えば注水が早くなったり遅くなったりした時の水素の発生量の影響っていうのはある程度見てるんですけど、流量のところに関しては、必ずしもちょっと
0:53:07	しっかり見れてない。結果としてこの流量が違ってセールス発生量にも影響が出てるんだらうなっていう。
0:53:14	推測。
0:53:16	ら水素食うになってます以上です。
0:54:22	規制庁の吉崎です水素食う、
0:54:25	でも解析の評価する時 2、そこまでか企画して、
0:54:31	検討してると思うんですけども、
0:54:37	とりあえずわかりました。
0:55:09	規制庁の伊藤です。
0:55:14	と、
0:55:16	原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書、
0:55:23	46 ページの、
0:55:26	ごめんなさいそうですね、48 ページに、原子炉建物水素対策フローが図が出てるんですけど。
0:55:33	ちょっとお伺いするんですけどこれって他の、
0:55:36	図書とかに出てくるものですかからこれってもうここだけに載ってるものですか。
0:55:48	中国電力のカネオリです。
0:55:51	このフロー図につきましては先行プラント様乗せて、
0:55:55	認識です。以上です。
0:56:01	明日
0:56:03	この場所以外には出てきません。以上です。
0:56:07	ありがとうございます。っていうのも、これ聞いたの。もう、この、
0:56:13	この図の説明書きみたいなのが 46 ページのケース 3 のところが出てくるんですけど、ここ。
0:56:21	この、
0:56:22	このところ自体が多分、
0:56:24	PARの設計に関する説明。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:27	とかについてなんですけど、あえてその格納容器ベントの実運用とか書いとるのは、この
0:56:33	フロー図を説明するために何かあえて書いてるのかなあとちょっと聞いた次第でした。はい、ありがとうございます。以上です。
0:57:02	はい。規制庁の吉崎ですおこうか、これはもう確認は、これ以上はないので、
0:57:09	次の説明書の
0:57:11	コメント回答に、
0:57:14	移ってください。
0:57:23	中国電力シマタニそれでは、
0:57:25	PCV設計条件の回答に移ります。
0:57:29	回答整理表の続きのNo.105 からになります。
0:57:35	ナンバー105、フィールドベースの予備に関して率運用を踏まえた保管場所について、備考欄への記載を検討すること。
0:57:42	PCB設計条件の比較表 88 ページをお願いいたします。
0:57:58	実運用の詳細について黄色ハッチング部分を追記いたしました。読み上げます。
0:58:02	運用の層位東海第 2 柏崎な、
0:58:05	今 2 号機には、
0:58:07	シルトフェンスを可搬型重大事故等対処設備の保管場所である第 1 及び第 4 保管エリアにも、に予備も含めて俯瞰して順次知事には、
0:58:18	保管場所から設置場所である 2 号機放水接合層及びウタガワに運搬し、設置する。
0:58:26	続きまして、No.106。
0:58:29	通常運転圧力の値について、備考欄への記載を検討すること。
0:58:34	比較表 92 ページをご確認ください。
0:58:41	黄色ハッチング部分に、
0:58:43	通常運転圧力の値である 14kPaを追記いたしました。
0:58:48	また、14kPaが構造強度評価に用いる値であることも、
0:58:52	明記いたしました。
0:58:54	96 ページについても同様の対応を行っております。
0:59:02	続きまして、No.107、
0:59:05	該当整理表No.5、残留熱除去系、括弧、格納容器冷却モードの削除理由について、
0:59:13	コメント回答欄への記載を検討する。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:16	回答欄をご確認ください。
0:59:19	最も過酷な破断を想定して設計する旨を明確化することから、
0:59:24	残留熱除去系、括弧格納容器冷却モードで相まってを削除することとしていたが、
0:59:31	改めて検討した結果、
0:59:33	原子炉格納容器は、残留熱除去系カッポ格納容器冷却モードに期待した設計としていることから、
0:59:40	当該記載は必要と判断し、
0:59:43	残留熱除去系、括弧格納容器冷却モードの削除は取り止め、
0:59:48	文章を適正化しました。
0:59:51	適正化内容については、比較表の 9 ページをご確認ください。
0:59:59	いるハッチング部分に変更点になります。
1:00:03	読み上げます。
1:00:05	原子炉冷却材圧力バウンダリ配管の最も過酷な破断を想定した場合であっても残留熱計画格納容器冷却モードと相まって、
1:00:13	相場羽田
1:00:14	により放置される原子炉で現在の演技による原子炉冷却材喪失事故時の最大の圧力最高の温度及び設計上想定された地震荷重に耐える設計とする。
1:00:26	続きまして、No.108。
1:00:29	通常運転水位の最大値を設定していることがわかるよう記載汚染検討すること。
1:00:35	比較表 30 ページをお願いいたします。
1:00:45	黄色ハッチング部分に、
1:00:46	上限値であることを追記いたしました。
1:00:51	続きまして、ナンバー109。
1:00:54	動荷重に包絡されていること等を確認することにより、
1:00:59	等について説明すること。
1:01:02	補足説明資料の通し 56 ページ。
1:01:06	をお願いいたします。
1:01:10	黄色ハッチングに等の具体的な内容を追記いたしました。
1:01:15	読み上げます。
1:01:17	また、設計基準事故時に想定していない格納容器ベント時の減圧沸騰及び減圧はによる荷重については、
1:01:26	影響が小さく、問題ないこと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:32	続きまして、ナンバー110。
1:01:36	8.35MPaと 8.68MPaが、
1:01:40	何の圧力か説明すること。
1:01:43	補足説明資料の通し。
1:01:45	31 ページをご確認ください。
1:01:51	現状のそれぞれを合わせて説明の後に、
1:01:54	8.35MPaと 8.68MPaを括弧書きで追記いたしました。
1:02:01	また、
1:02:02	図 2-11 についても判例を追加いたしました。
1:02:10	続きまして、ナンバー111。
1:02:12	回答整理表ナンバー28 式の変形内容を説明すること。
1:02:17	サイトウ整理表 4 ページをご確認ください。
1:02:22	赤字にて、両編の移行等により、
1:02:25	を追記いたしました。
1:02:30	続きまして、記載適正化箇所を説明いたします。
1:02:36	回答整理表 13 ページの、
1:02:38	ナンバー174 から、
1:02:40	になります。
1:02:43	ナンバー174 は、目次の適正化になります。
1:02:48	ナンバー175 について、設計条件の比較表、30 ページを、
1:02:54	ご確認ください。
1:02:59	セイキスティールハッチング部分の少し前の部分で、
1:03:02	設計基準事故時の原子炉格納容器の評価においては、
1:03:07	とあると思いますが、そのあとに続いていた。
1:03:10	保安規定の、に基づく運転上の制限値を踏まえ、
1:03:14	を削除しております。
1:03:18	最後のNo.176 は、
1:03:20	前回回答の、
1:03:22	水平展開になります。
1:03:26	こちらからの説明は以上です。
1:03:38	はい。規制庁のヨシザキで説明ありがとうございました。
1:03:41	コメント番号の 106 番通常圧力の値を備考に追記したってところなんですけども、
1:03:51	54kPaなんですけども、
1:03:56	何だ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:02	ちょっと遅いね。
1:04:15	すいません規制庁の出席です 92 ページ、比較表の 92 ページで、
1:04:21	公明の 12 のところなんですけども、
1:04:24	冷却材喪失事故後の 10 のマイナス 10 年程度の、
1:04:30	程度以降の最大内圧を考慮するってのはこれこれは最大のやつって幾つぐらいなんですかね。
1:04:52	中国電力の砂田です。
1:04:54	比較表の 28 ページの 14-1 をご確認ください。
1:05:13	この記載の 10 分の 6 乗より、
1:05:16	ちょうど右
1:05:19	Bの 0 になるあたりが 0.1 年後の。
1:05:24	圧力になってます。
1:05:26	以上です。
1:05:31	規制庁のヨシツグですよ、図 4-1-10-6 乗よりも右側。
1:05:42	ん中の 6 条。
1:05:46	図の 4、図の 4-1 でいうとどのあたりでしょうか。
1:05:54	中国電力島谷です。0.1 年後は、およそ 300 万秒後ぐらいになりまして、これ対数グラフになりますので、
1:06:05	10-6 乗のちょうど 0 になる、次の軸との半分ぐらいのところの方が山の方になるのでちょうど 0 になるところあたりが、
1:06:15	0.1 年後の圧力になります。以上です。
1:06:20	成長にヨシザキ 0 になるってのはですね要は圧力が、
1:06:25	0 になる。
1:06:26	ところぐらいだから、10 のマイナス 1 年後はゼロだから 149% SARRY が、
1:06:33	ということでよかったですかね。
1:06:38	中国では鳴です。おっしゃる通りたまたまちょうど 0 になるあたりが 0.1 年後というところになりますので、ご認識の通りです。以上です。
1:06:47	あ、規制庁ヨシザキスわかりました。
1:06:51	と、
1:06:52	少々が増える。
1:07:06	市長の吉崎です。
1:07:08	あとですね最後の方のコメント 110 番の、
1:07:12	0、8.35 と 8.68 のあった飯野所のコメント回答の、
1:07:21	ページー

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:22	が、これは補足の 31 ページのところなんですけど、
1:07:27	ちょっとこれ確認なんですけど、
1:07:32	2 パラ目ぐらいで設計基準時工事の評価における逃がし弁の、
1:07:37	だから普通のDBの逃がし弁なんていうか 8.35 時の圧力振幅等の
1:07:45	と、そのときの警察力から後は数字の最高圧力 8.68 を、
1:07:50	線形補間し、圧力振幅値を設定するってあって、
1:07:55	この説明はわかるんですけどな。3、その下のなおD。
1:08:01	図の 11 でわあ、
1:08:04	セキュリティ事故Gの評価結果でプラス側の振幅のピーク。
1:08:11	ピークに対して 1000 強化しており、
1:08:14	1.1 倍になるっていう古藤なんですけど。
1:08:18	この 1.1 倍の真ん中のマスキングの数字ってこれこれは、
1:08:22	これで合ってるんですかね、他の。
1:08:26	何だ、2 が強い安全面とあとは圧力の、
1:08:30	ココロンようわあ、8.35 分の 8.68。
1:08:38	ではないんですかね。
1:08:47	中国電力のカネオリです。
1:08:50	えっとですね。
1:08:52	圧力振幅で 1.1 倍っていうのを出してますけども、
1:08:59	3 号分 8.6 はちい。
1:09:02	でも同じようにですね 1.1 倍。
1:09:05	になります。
1:09:06	イドです。
1:09:14	規制庁の吉田です上、上の文章と、下の計算過程が何か、
1:09:20	合っていないように見えただけなんですけど上の文章では安全弁の作動 圧力の振幅幅と、
1:09:27	あとは辻野最高圧力を線形補間して、そのあとは数字は 1 度発圧力振 幅を設定するってあって、
1:09:38	そうするとこの 1.1 チバEの根拠って、この中の数字じゃないんじゃない かなと思ったんですけど。
1:09:46	そこはいかがですか同じだっていうのはそれは。
1:09:50	それは同じ 1.1 倍になるんでしょうけど。
1:09:53	この数値自体は 6.6 シマタニです。ご指摘、理解いたしましたので、記 載については検討させていただきます。以上です。
1:10:07	はい。規制庁の義崎です指摘内容がわかった。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:12	一応上の文章からすると下の文章を少し、
1:10:16	中、参照してる数字が違うんじゃないかなというこちらの懸念ですので、
1:10:22	ご確認お願いします。
1:10:27	中国でのシバタニシサコの圧力振幅はそもそも線形補間して出した値なので弾いを言うのであれば、圧力の値でいうべきだというご指摘と理解しております、
1:10:39	その通りだと思いますので、そのように記載を、
1:10:43	検討させていただきます以上です。
1:10:46	はい。規制庁吉崎ですよろしくお願いします。
1:10:49	少々が古い。
1:11:04	あ、すいません規制庁の。
1:11:06	イトウですけど。
1:11:10	工事計画に係る補足説明資料の原子炉格納施設、
1:11:15	80、通しページの 84 ページ。
1:11:25	ところで、ダウンかな、第 2%かな、水素濃度が上昇傾向となる理由として、
1:11:35	ダーツと始まって、
1:11:37	そこから球保守、解析上は水素濃度が高くなるようにガス組成を保守側に包絡するように設定していること。
1:11:45	まずこれが一つとしてもう 1 個。
1:11:48	マターから始まってSRV干しすとCRD補修室も開口を期待しているが期待しないものとしていることで保守性を持たせていること。
1:11:58	に加えてからダーツとって、
1:12:01	最終的に実際の水素濃度上昇いろいろ緩やかになるものと考えられる。
1:12:07	とって、上昇傾向となる理由として、
1:12:11	これが考えられるよって始まっつたんですけど最終的に水素濃度上昇は緩やかになるものと考えられるでおっって、何か。
1:12:19	僕の読み方が悪いのかちょっとなんか、
1:12:22	読みづらいなあと思ったんです。
1:12:25	ですけども何か、
1:12:27	これって僕の読み方がちょっとある。
1:12:29	変なんですかねとかこれってどうなんかなと思ってちょっと。
1:12:35	もっと何か、なんでしょうね。
1:12:42	なんか、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:44	わかりやすく、
1:12:46	何かなあとってちょっと、
1:12:49	コメントをしたんですけれども。
1:12:59	中国電力のカネオリです。
1:13:01	ここの説明の流れ、
1:13:04	としましては、
1:13:06	まずは薄井曾我局所に入ってきますと、
1:13:14	普通に考えると水素濃度としては上昇傾向。
1:13:18	になりますっていうのが一番最初の
1:13:20	パラ文パラグラフになってます。
1:13:23	ね。
1:13:24	解析上はですね
1:13:27	次、実際現場ではその開口とかもあるんですけども、それを期待しないで解析を、
1:13:34	やってまして、
1:13:35	それでも可燃限界未満というのを今確認しております。
1:13:40	さらには次、実際は
1:13:44	扉の隙間とかからですね実際水素排出、
1:13:48	されますので、解析結果よりもさらに水素の上昇が緩やかに、
1:13:55	なってくると考えておりますので、このような説明の流れで今、記載は、
1:14:01	してございます。
1:14:04	以上です。
1:14:46	中国電力のカネオリです。ちょっと記載がですね
1:14:51	少し長くなったり、切れ目がわかりづらくなっているところもございませので、
1:14:57	もう少し段落開けたりなどですねちょっと記載ぶりについては
1:15:02	検討させていただきます。以上です。
1:15:10	原子力規制庁の伊藤ですごめんなさい。私の説明もちょっとわかりづら いところがあって申し訳ないなと思ったんですけど。
1:15:19	ごめんなさいちょっと繰り返しになるかもしれんですけど、
1:15:22	ここの説明で水素濃度が上昇傾向となる理由を、
1:15:27	ダーッと説明しとって例えば一つは
1:15:30	どっち保守側に包絡するように、実際はそうじゃないけど保守側に包絡 するように設定していることとか、保守性を持たせてるので、水素濃度 が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:41	上昇傾向となりますよってという説明でまず一つで、
1:15:45	だと思っんですけれども。
1:15:47	文を区切らずに、
1:15:51	実数分なんでしょうね、上昇傾向となる理由は保守性を持たせてるまず一つ聞いとったらわかりやすいんですけどそのまま限らずに、
1:16:00	でも実際は、
1:16:02	そうじゃなくて水素濃度上昇は緩やかになると考えられますよとずらっと繋がってるのでさっき言われたように、区切るなり何なりしていただけると、ちょっとわかりやすいのかなと思います。はい。ありがとうございます以上です。
1:16:24	中国電力のカネオリです。承知いたしました。
1:16:36	規制庁の義崎ですちょっとコメント。
1:16:40	のところでないんですけどすみません、補足の
1:16:44	格納施設の補足の 57 ページで
1:16:50	DBの時の動荷重の説明がついて、
1:16:55	ちょっとこのどうか次の説明でちょっと聞き慣れない言葉があるんで教えて欲しいんですけど、ドラッグ荷重っていうのは、どういう荷重なのか説明してもいいですか。
1:17:16	中国電力のカネオリです。少々お待ちください。
1:18:05	中国電力のカネオリですちょっと今、お答えできませんでちょっと確認させていただきたいと思います。
1:18:12	規制庁の井関ちょっとここはちょっと何か注意書きじゃないですけど、あまりわからないので、そこがわかるような記載にさせていただくと、
1:18:23	いきいただきたいなというコメントです。
1:18:29	中国電力のカネオリですか、承知いたしましたの。
1:18:33	何となく荷重がですねどんな荷重かっていうのがわかるように注記等で記載ぶりについては検討したいと思います。以上です。
1:18:42	規制庁の井関サノ他で何か説明がどっかにあるんだったらそれはそれでまたそこに、その場所を教えてもらえばいいんですけどはい。
1:18:50	とりあえず、以上です。所長もそれ、
1:19:00	あ、規制庁のヨシザキです本日の説明省のコメントは以上になります
1:19:09	が、
1:19:09	そちらから説明、何か追加の説明ってあるでしょうか。
1:19:18	中国電力のオカなるやつはこちらからはありません。以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:24	はい。それでは最後少しコメントあったんでその確認だけしいましようか。
1:19:34	中国電力のカネオリです。今画面共有をしますので少々お待ちください。
1:20:16	あ、中国電力のカネオリです。今画面享受しておりますが、
1:20:21	ご覧いただけますでしょうか。
1:20:25	規制庁の吉崎です。はい。画面見えております。
1:20:28	お願いします。
1:20:31	はい。中国電力、中国電力のカネオリです。それではまず設計条件の説明書の方ですけれども、
1:20:38	補足説明資料の 31 ページですね、圧力振幅の
1:20:45	ピーク値に対する線形補間の約 1.1 倍について、
1:20:49	根拠を説明すること。
1:20:52	あと同じく補足説明資料の 57 ページで、ドラッグ荷重について説明すること。以上 2 件の認識です。
1:21:00	で、先ほど伊藤様からご指摘ありましたところですけども被水の低減性の説明書側になってますが、
1:21:09	補足説明資料の 84 ページに水素濃度が、
1:21:14	上昇傾向となる理由と、
1:21:16	実際の水素の上昇が緩やかになることについて、
1:21:20	分けて説明すること。
1:21:22	以上 3 件の認識です。
1:21:24	不足ありましたら、よろしく願いいたします。
1:21:30	規制庁の吉崎です。はい。この 3 件で、OKです。
1:21:35	以上です。
1:21:40	中国電力のカネオリ谷津。
1:21:42	ありがとうございました。
1:21:46	規制庁のヨシツグでそれでは、今回のヒアリングありがたいんですけども、何か連絡事項等もないでしょうか。
1:22:00	中国電力のカネオリです。こちらからはありません。以上です。
1:22:06	はい。規制庁の吉崎です。それでは本日のヒアリングを終わりたいと思います。
1:22:11	ありがとうございました。
1:22:15	ありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。